

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	33-1
PDCA	主要事業名	図書館一般事務	部課名	教育部図書館	担当	太田	
					内線	23-7171	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 1 単位施策： 学びの推進 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 8,858 千円						
	会計		一般会計		歳出科目： 09.05.03.02.01		
	事業概要等	事業概要： 年齢や障がいの有無、国籍などにかかわらず、誰もが本に触れ、情報を得、読書を楽しめる環境づくりを進める。利用者サービスの向上として、WEBからの在架予約を開始する。乳幼児期から発達段階に応じた読書支援や障がい者、高齢者へのサービス提供を実施する。					
		事業目的： より多くの方に図書館及び図書館資料を利用してもらい、読書活動を推進する。					
		事業内容： あかちゃんとしょかんを始めとした乳幼児期からの読書支援、学校支援事業（ブックトーク、調べ学習お届け便など）、高齢者及び障がい者への読書支援、各種講座・イベントの開催。					
		問題点・課題等： 生活環境の変化などにより活字離れが進んでおり、乳幼児期からの継続的な読書支援が必要である。また、利用者のニーズにあったサービス提供が必要である。					
	予算額	主要事業とする理由					
	8,858 千円	子どもの活字離れが進んでおり、その読書活動を推進する必要があることと、図書館と図書館資料の利用促進を幅広く行う必要があるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	子どもの読書活動推進と図書館及び図書館資料の利用推進につながる。					
	8,343 千円						
	国費						
	0 千円						
	県費						
	0 千円						
その他							
515 千円							
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	8,422 千円	各種講座やイベントなどコロナ禍以前の運営形態に戻すとともに、内容を見直すなどした結果、より多くの市民の参加があり目標値を上回ることができ、図書館の利用促進につながることができた。					
	成果指標				令和5年度	単位	
	図書館事業参加者数		実績値	7,700	人		
			目標値	7,000	人		
	C 課題の整理	事業の評価・課題	C 集客に課題があったイベント等の内容を見直すとともに、人気のある事業は定員を増やす等の工夫し、事業参加者数の増加につなげることができた。また、三か月児健診時に行う「あかちゃんとしょかん」での貸出券発行や、学校を通じて希望者に貸出券を発行することを継続して行い、図書館への来館のきっかけ作りに努めた。講座・イベントの中には、募集人数に達していない事業があることから、興味を引くような内容に見直すとともに、イベント等のターゲットとなる市民に効果的に情報が届く広報に努める必要がある。				
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 申込制が不要である事業に関しては、申込制をなくし、気軽に来てもらえるような企画・運用を行う。また、企画課のLINEによる広報で普段図書館を利用しない人にもイベントが周知できるようにするなど工夫し、来館のきっかけ作りを行う。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）